

日本での交換留学

アンカラ大学

カシュプナル・ジェレン

学籍番号 k2590075

私が日本に来たことは、長い間関心を持ってきた日本語と日本文化を、実際に現地で学び体験するための大切な一步でした。日本語・日本文学を専攻する学生としての留学は、私にとって単なる交換留学ではなく、自分の学問的な目標と深く結びついた学びの時間でした。学業面だけでなく、個人的にも大きな節目となり、長年の夢を実現できたことを心から嬉しく思っています。



授業では、さまざまな国から来た交換留学生たちと一緒に学ぶことは、非常に教育的な経験でした。最初は日本語で自分の意見を伝えることに緊張しましたが、少しずつ慣れ、次第に楽しさを感じるようになりました。自分の考えを別の言語で表現し、異なる文化や価値観に触れることで、日本語学習がより身近で意味のあるものになったと感じています。その中で、語学力だけでなく、自信も自然と身につけていきました。

お茶の水女子大学で受講した授業は、どれも非常に充実していました。自分のレベルに合った日本語の授業を選べたことに加え、日本文化について学べる授業があったことは、私たち交換留学生にとってとてもありがたかったです。特に、お茶の水女子大学附属小学校を訪問し、東京について学んだ授業は、今でも心に残っています。実際に日本の小学校を見学し、小学生たちと交流する機会を得られたことは、忘れられない貴重な経験となりました。

日本での生活を通して、勉強面だけでなく、自分自身の成長も強く実感しています。慣れない環境の中で生活し、自分のことを自分で考え行動する経験は、私に自立心と前向きな気持ちを与えてくれました。日本人の友人や他の交換留学生と過ごした日々は、留学生生活をより豊かで楽しいものにしたくれた、大切な思い出です。

最後に、私の今までの交換留学を無事に過ごすことができるように手伝ってくださったみなさんに感謝を申し上げます。毎月の振り返りシートを確認していただき、授業への参加を認めてくださった指導教員の松岡先生に、心より感謝申し上げます。また、いつも親切に声をかけてくださったチューターの北村さんにも、感謝の気持ちでいっぱいです。さらに、交換留学生を担当し、常に私たちを支えてくださった市原先生、国際課の大野様、授業を担当してくださったすべての先生方、そして音羽館の管理室の皆さん、相談に乗っていただき、いろいろな問題を解決していただき、本当にありがとうございます。そして最後に、いつも一緒に楽しい時間を過ごしてくれた友だちにも感謝しています。

